

建築を学ぶ大学院生の設計や修士論文を審査・展示する「トウキョウ建築コレクション2021」が、東京都渋谷区の代官山ヒルサイドテラスで2〜7日に開かれた。写真。主催は建築を学ぶ学生で構成する「トウキョウ建築コレクション」2021実行委員会。建築資料研究社、日建学院が特別協賛した。

今年で15回目となる展示会のテーマは「順応」。新型コロナウイルスの流行や環境問題



# 設計・論文グランプリ決定

## トウキョウ建築コレクション実行委

題への関心の高まりなど、現代社会が抱える課題に対し建築がどのように順応するかを考える場として開催した。

全国修士設計展と全国修士論文展の2部門で構成。設計展は東京芸術大学大学院の池田友葉さんの「ミスギキノクラ 美杉木倉」、論文展は東京芸大大学院の原田葉さんによる「『氏子かり帳』に記録される木地師の時空間―江戸時代における木地師の所在地とその変遷の空間的分析―」がグランプリに輝いた。

受賞者は次の通り。▽タイトル『氏名(所属)。敬称略。』〈全国修士設計展受賞者〉

▽「ミスギキノクラ 美杉木倉」―池田友葉(東京芸大大学院環境設計第二研究室)

▽「岸和郎賞」

▽「重力と暮らす―豪雪地域における張力構造の住宅の提案―」―工藤滉大(早稲田大学大学院古谷誠章・藤井由理研究室)

▽「壁のない『修道院』―圏外からの思考・創作編―」―市原将吾(早大大学院小岩正樹研究室)

▽「『流動する大地』〜700Mのハケの道における新たな公共の提案〜」―山本圭太(早大大学院古谷誠章・藤井由理研究室)

▽「涵(かん) 養域をつくる―地中水脈をつなぐ共生のまなざし―」―山地南帆(東京理科大学大学院垣野義典研究室)

▽「『氏子かり帳』に記録される木地師の時空間―江戸時代における木地師の所在地とその変遷の空間的分析―」―原田葉(東京芸大大学院光井渉研究室)

【平田晃久賞】

▽「重力と暮らす―豪雪地域における張力構造の住宅の提案―」―工藤滉大(早大大学院古谷誠章・藤井由理研究室)

【小堀哲夫賞】

▽「壁のない『修道院』―圏外からの思考・創作編―」―市原将吾(早大大学院小岩正樹研究室)

【峯田建賞】

▽「『流動する大地』〜700Mのハケの道における新たな公共の提案〜」―山本圭太(早大大学院古谷誠章・藤井由理研究室)

【大西麻貴賞】

▽「涵(かん) 養域をつくる―地中水脈をつなぐ共生のまなざし―」―山地南帆(東京理科大学大学院垣野義典研究室)

【全国修士論文展受賞者】

▽「『氏子かり帳』に記録される木地師の時空間―江戸時代における木地師の所在地とその変遷の空間的分析―」―原田葉(東京芸大大学院光井渉研究室)

【岡部明子賞】

▽「再生砕石を用いた乾式コンクリートの研究」―岩見遙果(慶応大学大学院松川昌平研究室)

【飯塚悟賞】

▽「床の間からミッラーブへ―日本のモスク建設にみる在来建築との折衝―」―大場卓(東京大学大学院林憲吾研究室)

【満田衛資賞】

▽「回転脱着式接合部を用いたレシンプロカル・フレームの施工性に関する研究―仮設構造物『木雲』を事例として―」―齋藤拓海(九州大学大学院末廣香織研究室)。

【大原一興賞】

▽「人新世時代の鉱山跡地における放擲(てき)された空間の特性及び位置付け―秋田県北鹿地域の実像と環境哲学の議論を交えて―」―富樫遼太(早大大学院後藤春彦研究室)

【青井哲人賞】

▽「寺社建築の架構における意匠的操作」―山本瑠以(東京芸大大学院建築理論第一研究室)

【岡部明子賞】

▽「再生砕石を用いた乾式コンクリートの研究」―岩見遙果(慶応大学大学院松川昌平研究室)

【飯塚悟賞】

▽「床の間からミッラーブへ―日本のモスク建設にみる在来建築との折衝―」―大場卓(東京大学大学院林憲吾研究室)

【満田衛資賞】

▽「回転脱着式接合部を用いたレシンプロカル・フレームの施工性に関する研究―仮設構造物『木雲』を事例として―」―齋藤拓海(九州大学大学院末廣香織研究室)。

建築資料研究社、日建学院が特別協賛

# グランプリに池田氏(修士設計展)、原田氏(修士論文展)

写真。

建築を学ぶ全国の修士学生による修士設計・修士論文を集め審査する「トウキョウ建築コレクション2021」が2日から7日にわたり、東京都渋谷区の代官山ヒルサイドテラスで開かれた。



## 「トウキョウ建築コレクション2021」

特別協賛—建築資料研究社／日建学院

た。

詳細は、建築資料研究社／日建学院が運営している建築学生の集いの場『ルフト』(<https://luft.a.jp/result/tokore2021>)で見ることができ。

受賞者は次のとおり(敬称略)。  
 〈全国修士設計展〉

▽グランプリ—「ミスギキノクラ

美杉木倉」池田友葉(東京芸術大学環境設計第二研究室)

## 建築の「順応」 考える場

に対して、建築がどのように「順応」していくべきなのかを考える場を提示し、注目を集めた。

修士設計展には東京芸術大学の池田友葉氏の「ミスギキノクラ 美杉木倉」、修士論文展には同大学の原田葉氏の「『氏子かり帳』に記録される木地師の時間—江戸時代における木地師の所在地とその変遷の空間的分析—」がそれぞれグランプリに輝い

山地南帆(東京理科大学垣野義典研究室)

〈全国修士論文展〉

▽グランプリ—「『氏子かり帳』に記録される木地師の時間—江戸時代における木地師の所在地とその変遷の空間的分析—」原田葉(東京芸術大学光井渉研究室)

▽大原一興賞—「人新世時代の鉾山跡地における放擲された空間の特性及び位置付け—秋田県北鹿地域の実像と環境哲学の議論を交えて—」富樫遼太(早稲田大学後藤春彦研究室)

▽青井哲人賞—「神社建築の架構における意匠的操作—」山本瑠以(東京芸術大学建築理論第一研究室)

▽岡部明子賞—「再生砕石を用いた乾式コンクリートの研究—」岩見遙果(慶応義塾大学松川昌平研究室)

▽飯塚悟賞—「床の間からミッラー—」飯塚悟(東京大学)

▽飯塚悟賞—「床の間からミッラー—」飯塚悟(東京大学)

▽飯塚悟賞—「床の間からミッラー—」飯塚悟(東京大学)

# トウキョウ建築 コレクション開く

実行委

トウキョウ建築コレク  
ション実行委員会は、ト  
ウキョウ建築コレクショ  
ン2021を開いた。全  
国から募集した修士設計  
作品を展示した他、設計  
と論文の公開審査を行っ  
た。特別協賛は建築資料  
研究社・日建学院（豊島  
区）。

全国の修士学生が、第  
一線で活躍する建築家や

研究者などを招き、作品  
の展示と議論の場を創出  
し、記録本を出版する。

全国修士設計展では、  
岸和郎氏を審査委員長と



作品を評価する小堀哲  
夫氏（左から2番目）

する公開審査を実施。平  
田晃久氏、小堀哲夫氏、  
峯田建氏、大西麻貴氏が  
審査し、池田友葉さん  
（東京芸術大学大学院）  
の「ミスギキノクラ 美  
杉木倉」をグランプリに  
選んだ。

詳細はウェブ(<https://luchta.jp/>)。

建通新聞(東京版)  
2021年3月19日号  
[建通新聞社 提供]